

## 人文社会科学特別科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
人文社会科学特別科目	災禍の人文社会科学	2	城戸淳 ほか	前期 木曜日 1 講時	

科目名：人文社会科学特別科目／ Humanities and Social Sciences (Special Course)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：城戸淳 ほか

コード：LD14101 科目ナンバリング：LALOAR701J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災禍の人文社会科学

2. Course Title (授業題目)：Humanities and Social Sciences on Disasters

3. 授業の目的と概要： 本授業は後期課程の学生を対象として、人文社会科学の幅広い視野を提供するものである。研究者として専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識、あるいは高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養することを目的として、日本学専攻・広域文化学専攻・総合人間学専攻の教員が、それぞれの専門的な知見に基づいてオムニバス形式で講義を提供する。

本年度は「災禍」を共通テーマに据え、コロナ禍のような疫病を含めた災害について、人文社会科学の多角的な観点から学ぶ。(オムニバス方式/15 回)

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, doctoral course students should learn the humanistic methods to approach the theme of "disaster". Faculty staff members provide lectures in an omnibus style.

5. 学習の到達目標：

(1)人文社会科学の幅広い視野を提供し、研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識を身につける。(2) 深く広い知識をもとに、高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course helps doctoral course students acquire the wide view and knowledge of researches in the humanities and social sciences.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 片岡龍「災禍と天皇」
- 2 島崎薫「日本語教育と災害」
- 3 仁平政人「災禍と日本文学」
- 4 籠橋俊光「災禍の史料学」
- 5 鹿又喜隆「考古学から見る災害の歴史」
- 6 木村敏明「災禍の儀礼論」
- 7 谷山洋三「震災、水害、コロナ禍での宗教者の支援活動」
- 8 三浦秀一「伝統中国における災害救済の思想」
- 9 大河内昌「小説の誕生と疫病—『ペスト年代記』を読む」
- 10 今井勉「『ハイチ震災日記』を読む」
- 11 城戸淳「災禍の哲学——悪と最善観」
- 12 杉本欣久「日本芸術における災禍と僻邪の思想」
- 13 阿部恒之「災害心理学～災害文化と創発規範～」
- 14 大森美香「パンデミックと心理学」
- 15 小松丈晃「災禍の社会学」

(題目は仮題。順序は変更する場合がある。)

8. 成績評価方法：

各回の小課題(コメント)による。

9. 教科書および参考書：

講義中に指示する。

10. 授業時間外学習：講義を踏まえて、参考文献などに触れ、発展的な理解を得るように努める。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし